

ちょっと気になるが出発点

～ 発達障害のある子どもたち～

学習面でちょっと気になる

ひろしくんは教科書の音読が苦手です。



行をとばしたり、文字を読み間違えたりすることがよくあります。

学習面でちょっと気になる

こんな子どもたちはいませんか。

- ・ことばの指示を理解することが難しい。
- ・言いたいことをうまく話せない。
- ・漢字を覚えることが苦手。
- ・文字の書き間違いがとても多い。
- ・繰り上がりや繰り下がりの計算ミスが多い。
- ・図形や文章題を解くことが難しい。
- ・はさみやのり、ボール等がうまく扱えない。

行動面でちょっと気になる

たかしくんはがまんすることが苦手です。



静かにしていなければいけないのに、
つい大声でおしゃべりを始めてしまいます。



行動面でちょっと気になる

こんな子どもたちもいませんか

- ・細かいところの見落としや不注意な誤りが多い。
- ・注意の集中の持続が難しい。
- ・計画的に最後までやり遂げることが難しい。
- ・忘れものやなくしものが多い。
- ・おしゃべりが多く、質問し終わる前に答えてしまう。
- ・約束やルールが守れない。順番が待てない。

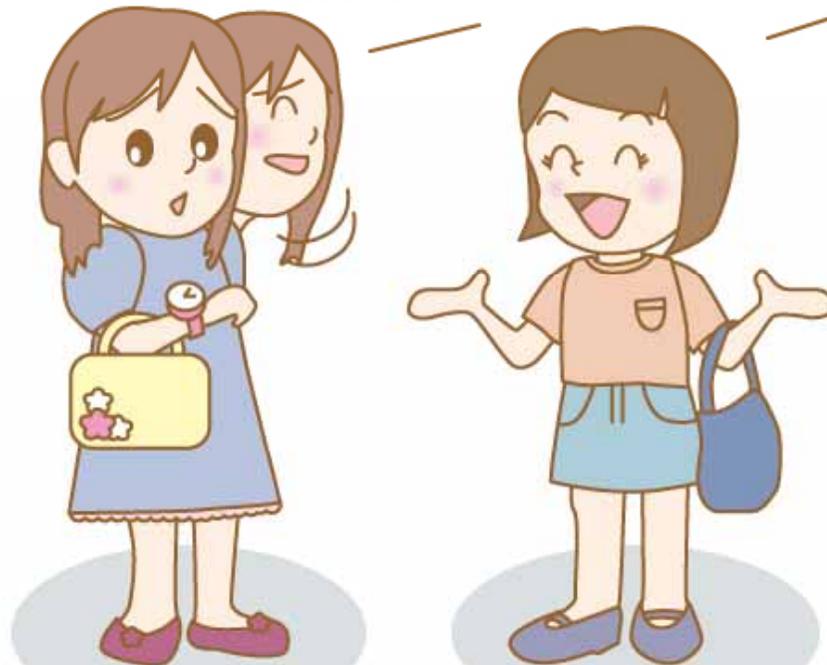
対人関係でちょっと気になる

のぶこさんは相手の気持ちを考えることが苦手です。

う…うん

そろそろ行かないと…

それでね…



相手が困っていることに気づかずに、
一方的におしゃべりを続けてしまいます。



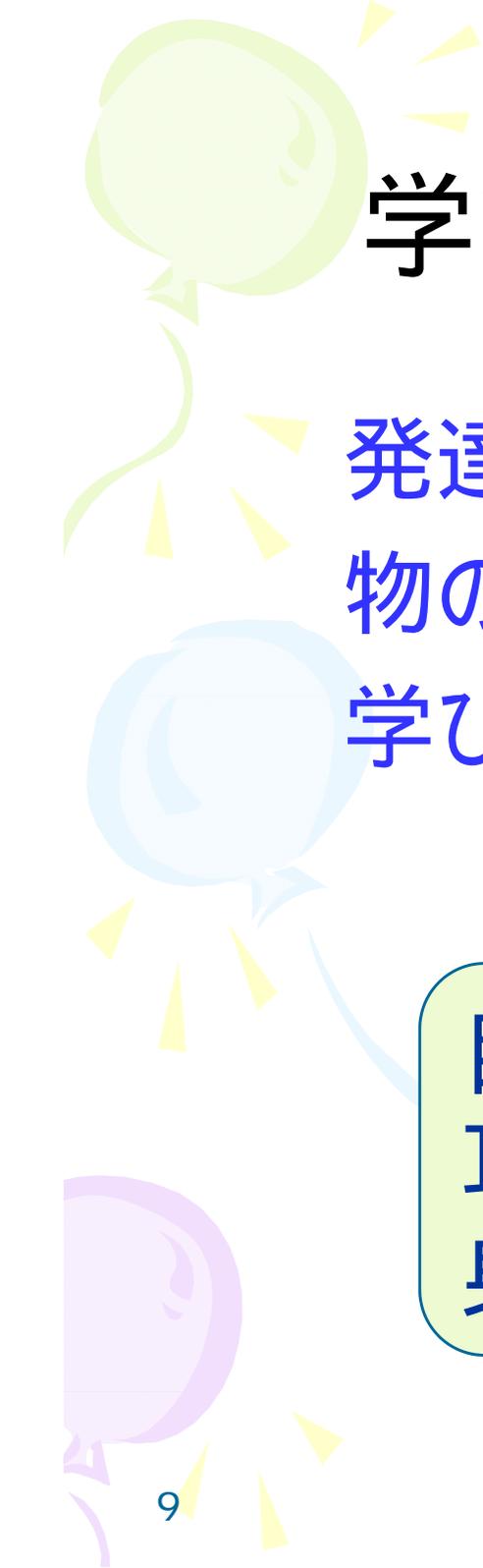
対人関係でちょっと気になる

こんな子どもはいませんか

- 
- ・人と協力して行う活動が難しい。
 - ・その場のルールや約束に従えないことが多い。
 - ・一度こだわると切り替えが難しい。
 - ・相手の感情や状況を考えずに話す。
 - ・大勢よりも一人でいることが多い。
 - ・子どもよりも大人との関係を好む。

発達障害のある子どもたち

学習面や行動面、対人関係において、生活上に様々な困難がみられる、学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群などの障害を発達障害とよんでいます。



学び方に特徴のある子どもたち

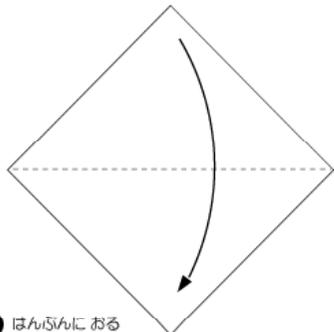
発達障害のある子どもたちの中には、
物の捉え方や感じ方など、
学び方に特徴のある子どもたちがいます。

目で見えて覚える方が得意
耳で聞いて覚える方が得意
身体を動かして覚える方が得意

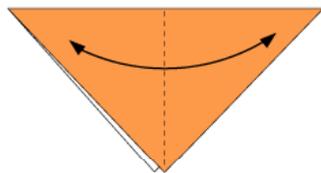
学び方に特徴のある子どもたち

耳で聞くより目で見て覚える方が
得意な子どもたちがいます。

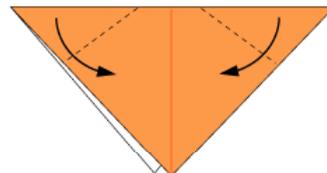
長い説明よりも実物を見せたり、
作業手順などを文字や絵で示すと
わかりやすくなります。



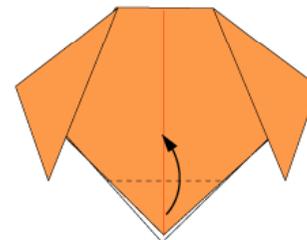
① はんぶんにおる



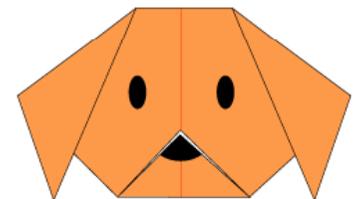
② はんぶんにおいておりめをつけてもどす



③ てんせんで おる



④ てんせんで おる





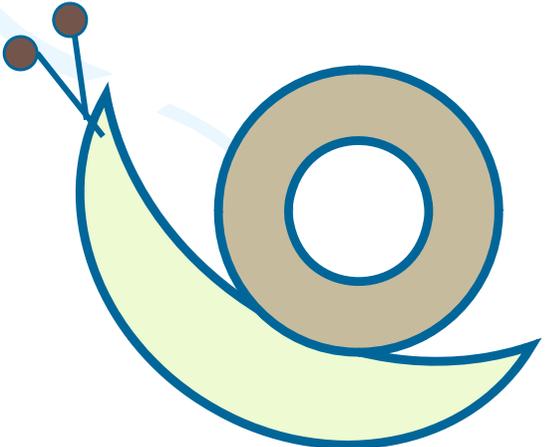
学び方に特徴のある子どもたち



目で見るとより耳で聞いて覚える方が得意な子どもたちもいます。



絵や図だけでなく、ことばでも説明するとわかりやすい子どもたちです。



お皿の上にドーナツ1つ
サクラamboをつけたら「かたつむり」

学び方に特徴のある子どもたち

見たり聞いたりするより

身体を動かして覚える方が
得意な子どももいます。

漢字や図形を指でなぞりながら覚えたり、
実際に身体で体験したりしながら学習します。

「うーさん たてたて ひげ ちょんちょん」



寒



学び方に特徴のある子どもたち

この他にも、
全体を先に見た方が得意な子ども
一つ一つ順番に示された方が
得意な子どももいます。

集団で生活することの難しさ

- ・人に援助を求めること
- ・まわりを見て合わせること
- ・経験を生かすこと
- ・他のことを気にせず注意を集中すること
- ・気持ちや感情をうまく伝えること
- ・見通しをもち計画的に取り組むこと

このようなことが苦手な場合は、生活上にも様々な支障をきたすことができます。

「障害の理解」よりも「特性の理解」

同じ診断名でも

一人一人特徴は違います。

「障害の理解」よりも

どのような支援が必要なのか

「特性の理解」が大切です。

障害とは何でしょう

障害は、障害のある人が障害のない人の社会で生活するときに生まれてきます。心身の機能に不自由さがあると、社会生活に不都合が生じます。それが障害です。



できないということではなく、
できるためには支援が必要ということです。

がんばればできる子ども

?



「やる気の問題、やればできる」

「努力が足りない、練習すればできる」

「わざと人を困らせるようなことをする」

「自分勝手にルールや約束を守らない」

二次障害への配慮

失敗経験やつまずきの積み重なり
やる気の問題、努力不足という見方
無理強い、注意や叱責の繰り返し



ストレス、不安感の高まり、自信や意欲の低下



さらなる適応困難、不登校やひきこもりも

「かかわり」と「環境」がとても重要



発達障害の特性という視点

特性に気づき、
特性のある子という視点をもつこと

特性に応じた、
学びやすい方法の工夫すること

うまくいかなければ
方法を変えていく柔軟性が大切

わかりやすく指示していますか

指示の出し方

- ・こそあどことば
- ・あいまい表現

これをあそこに

きちんと並びなさい

ちゃんと片付けなさい

場面、人との関係

- ・きまりや約束、ルール
- ・自分の気持ちと相手の気持ち

相手のことも
考えなさい

わかりやすく指示していますか

~~※これをあそこに~~
かばんは後ろのロッカーに

~~※きちんと並びなさい~~
白い線に並びましょう

~~※ちゃんと片付けなさい~~
本は本棚にしまいましょう。

~~※相手のことも考えなさい~~
きみは～が嫌だったんだね。
さんも～が嫌だったみたいだよ。

支援の基本的な姿勢

- ・自信をもたせる
- ・プライド、自尊感情に配慮する
- ・問題のある子と見ない
- ・感情的に対応しない
- ・友人から孤立させない
- ・安心できる人と場所を確保する

支援の基本的な姿勢

- ・自信をもたせる
- ・プライド、自尊心に配慮する
- ・問題のある子と見ない
- ・感情的に対応しない
- ・友人から孤立させない
- ・安心できる人と場所を確保する

失敗が糧になりにくい

間違い(できないこと)に気づかせるより、正しいこと(できる方法)に気づかせる。

ちょっと気になるが出発点

- ・ちょっと気になる子どもは困っている子ども。
自分から援助を求めるのが苦手な子ども。
- ・「障害」ではなく、「特性」を理解し、
学び方の「特性」に応じた支援を工夫。
- ・適切でない「かかわり」や「環境」は二次障害
を招くことにも留意。
- ・わかりにくい生活空間をもっとわかりやすく。

終わり

ちょっと気になるが出発点

～ 発達障害のある子どもたち～

担当：笹森 洋樹